

					行動計画			①平成30年度 重点取り組み項目(具体)	上半期の取組			年間評価		⑧備考 その他	行動計画		
					平成28年度	平成29年度	平成30年度		②平成30年度取組状況 (H30.8.1現在)	④問題点等	⑤平成30年度下半期の取り 組み	⑥ 達成度	⑦ 評価		平成31年度	平成32年度	
		地域での実践を担う「人が育つ」博物館へと進化	地域で活動する人の情報交換の場づくり	課題別交流会の運営ノウハウ確立	ピオトーブ運営者の交流会(1年目:課題の共有)	ピオトーブ運営者の交流会(2年目:抽出した課題の解決方法を共有)	ピオトーブ運営者の交流会(3年目:共有した解決方法の実践結果の報告)	エコロジーが登録指導者による、企業ピオトーブでの、企業担当者や協働した活動者交流会の開催	活動者交流会の開催に向けた企業担当者との打ち合わせを開催し、交流会の内容・日程などを調整	開催後の反省会を出発する	登録指導者による交流会を、企業のピオトーブで開催した 参加者からのアンケート調査データを基に課題を抽出した	100%	◎		ピオトーブ運営者の交流会(4年目:成果まとめと発信)	新たな課題の交流会を設置	
			ウェブサイト「エコロ〜が」の改良				エコロジーがウェブサイト再構築に向けた、改善案と見積の作成	使い勝手の聞き取り調査を踏まえ、改善案を策定し、参考見積を業者に依頼			業者から参考見積もりを提出してもらい、改善内容の再検討を実施	100%	◎		エコロジーが改良案の作成と予算要求	ウェブサイト再構築	
3. 利用者の利便性・快適性を高める施設整備	ICTの活用	来館者が快適で楽しく情報を得られるシステムの整備	デジタルサイネージ	設置													
			多言語音声展示ガイド	ガイド整備			第2期分コンテンツ追加	コンテンツ追加	年度後半に実施予定								第3期分コンテンツ変更
	無料公衆Wi-Fi整備	図書室に整備															
	ユニバーサルデザインの推進	誰でも安心して利用できる博物館	高齢者や福祉団体の休憩室整備		第2期実施設計	第2期工事	第2期整備(完成)	4月にリニューアルオープンする。	4月2日 リニューアルオープン			【上半期にオープン完了】	100%	◎			
	誰でも容易に理解できる表示	わかりやすい館内サイン/多言語対応/読みやすい解説パネル		第1期整備 第2期実施設計	第2期工事	第2期整備 第3期実施設計	【第2期整備】 7月におとなのディスカバリー、ディスカバリールームをリニューアルオープンする。 【第3期実施設計】 4月に起工、5月にプロポーザル公告、6月に契約締結して着手し、3月に設計を完了する。	【第2期整備】 7月6日 おとなのディスカバリー、ディスカバリールーム オープン 【第3期実施設計】 4月20日 起工(上申) 5月9日 プロポーザル公告 6月25日 契約締結、着手			【第3期実施設計】 設計内容の検討 3月上旬 設計完了予定	100%	◎		第3期工事	第3期整備	
	利用者が参加する使い勝手の検証			UD検討委員会	UD検討委員会	UD検討委員会	第3期実施設計の契約締結後、UD評価を2回開催する。	6月25日 第3期実施設計契約締結			9月13日 第1回開催 12月18日 第2回開催	100%	◎		UD検討委員会	第3期整備	
4. 多様な主体との連携	地域との連携	地域の多様な主体との協同	地域と博物館の共同事業の検討および宣伝		検討の開始	検討結果のまとめ	共同事業のアイデア集を公開	共同事業の事例集を作成、公開する。		アイデアよりも事例紹介の方が、共同事業促進に有効と思われるため、事例紹介とする。	各学芸員に、事例紹介の執筆依頼	60%	△		共同事業の事例集を公開	共同事業の事例集を増補・公開	
	学校との連携	学校による博物館利用の推進	地域を研究する中学生・高校生の交流会		博物館内での検討開始	学校教員とともに検討会をつくる	交流会の立ち上げ 交流会の開催	はしかけグループ「琵琶湖梁山泊」を立ち上げ、活動する。	すでに立ち上げを完了、梁山泊の観察等の活動を行っている。		はしかけグループ「琵琶湖梁山泊」を運営し、中高生の研究活動を支援	100%	◎		年2回以上の交流会・ワークショップの開催	年2回以上の交流会・ワークショップの開催	
	関係団体との連携	環境問題解決のため試験研究機関や行政との連携を強化	琵琶湖環境研究推進機構への参加			「在来魚介類のにぎわい復活に向けた研究」最終年度」参加	新「在来魚介類のにぎわい復活に向けた研究(第二期)」参加	新「在来魚介類のにぎわい復活に向けた研究(第二期)」参加	他の研究機関と連携を継続しながら、担当学芸員を中心に研究を行う	継続して野外調査を実施した		調査結果をまとめ、日本地理学会、応用生態工学学会等で学会発表を行った	100%	◎		「在来魚介類のにぎわい復活に向けた研究(第二期)」最終年度	
			外来魚駆除に関する研究」最終年度	「外来水生植物駆除に関する研究」参加	「外来水生植物駆除に関する研究」参加				担当学芸員を中心に研究を進める	外来水生植物駆除およびその研究に参加			外来生物駆除ならびにその研究に担当学芸員が参加した	100%	◎		「外来水生植物駆除に関する研究」最終年度
		琵琶湖再生法関連研究			南湖の沈水植物に関する研究(琵琶湖・琵琶湖研)	南湖の沈水植物に関する研究(琵琶湖・琵琶湖研・県立大)	南湖の沈水植物に関する研究(琵琶湖・琵琶湖研・県立大)	南湖の沈水植物の継続研究調査を行う	定期的な観測を行った			2017年度の成果を日本陸水学会で発表し、今年度は52観測地点での水草調査を行い、現在データをまとめている	100%	◎		南湖の沈水植物に関する研究(琵琶湖・琵琶湖研・県立大)	
		その他の連携			ILEC30周年記念展の実施 試験研究機関連絡会議	NORNAC滋賀県大会開催 試験研究機関連絡会議	試験研究機関連絡会議	10月の発表会に参加し、博物館から1件報告する	発表者を選出し、発表内容も確定した			10月19日長浜ドームにて試験研究機関連絡会議で博物館が行っている研究の成果を1件口頭発表した	100%	◎		試験研究機関連絡会議	
	他の博物館・美術館と連携し発信力を強化	共同イベントによる博物館の役割のアピール		佐川美術館との共同イベント	ICOM京都大会の準備、 県博協35周年記念事業	ICOM京都大会の準備	ICOM京都大会の準備	エクスカーションプログラムの準備と委員会へのテーマ提案	6月に4館対応会議を開催し、会議準備状況の情報を共有			12月に4館会議を開催しICOMの自然史博物館委員会の受け入れ先となることを決定	100%	◎	・関連予算申請済み	ICOM京都大会	
	近隣施設と連携し地域の活性化と集客増	イベントの共同開催や広報における協力	鳥丸半島活性化協議会への参加	イベントチラシ作成、スタンプラリーの実施	チラシ作成、 共同イベントの企画・検討	共同イベントの実施(リニューアルイベント等との共同実施)	スタンプラリーを2回実施する。	夏にもスタンプラリーを実施				スタンプラリーを実施	100%	◎		チラシ作成、 共同イベントの企画・検討	共同イベントの実施(リニューアルイベント等との共同実施)
	企業・大学との連携	訪問活動による連携と博物館利用の促進	企業・団体等	リニューアルサポーター・企業メンバーシップ・水橋サポーター制度による支援と博物館利用の促進	県内拠点企業等訪問 企業の環境保全活動等紹介	流域府県の企業等訪問 企業サポーター交流会 企業の環境保全活動等紹介	流域府県外の企業等訪問 企業サポーター交流会 企業の環境保全活動等紹介	本社が関西の会社の訪問を目指す。	環境に関心のある企業に加え、県外本社の企業も訪問			京都・大阪の企業にも訪問 トンボの展示を開催。環境保全活動については春に紹介予定	100%	○			
			大学・短大等	キャンパスメンバーズ制度による学生の博物館利用の促進	キャンパスメンバーズ制度による学生の博物館利用の促進	県内大学・短大等への訪問	流域府県の大学等へ対象拡大	県内大学への加入依頼を行う	県内大学への加入依頼を行う				県内大学への加入促進を実施	50%	△		流域府県外の大学等へ対象拡大
国内知名度の向上	ターゲットを想定し情報発信				第1期リニューアルの情報発信(京阪神の子連れ家族)	第1期リニューアルの情報発信(京阪神の子連れ家族)	第2期リニューアルの情報発信(+大人)	第2期リニューアルオープンに伴い、県外はもとより、県内地元住民にも広報を行う。	リニューアルオープンに向け、県内新規住民等へチラシを配布			県内宿泊施設へのチラシ配架依頼、県内向けにHPや情報誌への掲載 県外への折り込み広告等を実施	100%	◎		第2期リニューアルの情報発信(+大人)	第3期リニューアルの情報発信(+地域)
		魅力的なイベント開催によるパブリシティ	リニューアル関連情報の発信	リニューアル関連情報/開館20周年記念事業	東京「情報発信拠点」の活用開始	第2期リニューアルオープン記念事業	第2期リニューアルにあわせ、博物館のイベントを開催していく。	イベントの検討				樹冠トレイルのオープニングイベント、トレイルツアーを実施	100%	◎			第3期リニューアルオープン記念事業
	定期的イベントによる発信	びわ博フェス(仮称)/アトリウムコンサート	びわ博フェス(仮称)/アトリウムコンサート				秋の樹冠トレイルオープニングに併せて開催する	アトリウムコンサートやびわ博フェスの準備を行った。			アトリウムコンサート、びわ博フェスを実施	100%	◎		びわ博フェス(仮称)/アトリウムコンサート	びわ博フェス(仮称)/アトリウムコンサート	

					行動計画			①平成30年度 重点取り組み項目(具体)	上半期の取組			⑤平成30年度下半期の取 組み	年間評価		⑧備考 その他	行動計画	
					平成28年度	平成29年度	平成30年度		②平成30年度取組状況 (H30.8.1現在)	④問題点等	⑥ 達成度		⑦ 評価	平成31年度		平成32年度	
		「木から森へ」の博物館学の追求	博物館機能を活用した博 物館学研究の推進	博物館学研究領域を 中心とした方法の開 発		領域会議での検討	具体的な研究計画の検 討	研究テーマおよび内容に ついて検討し、計画を立 てる	個々に、研究テーマを提 示し、検討を行った	—	・今年度の研究成果を踏ま え、来年度の博物館で行う研 究調査を作成した	100%	◎		共同研究の申請	共同研究の開始	
研究成果の発信力強 化	一般向けへの発信		インターネットでの発信	研究成果に基づく情 報ページを開設			コンテンツ構成案を作 成	研究部のページを作成す る	コンテンツの考案と情報 の集積を行った	—	・研究部のコンテンツ考案を 検討中	70%	○		コンテンツ作成	ページ作成と公開	
			刊行物による発信	『琵琶湖博物館』を冠 にした一般書籍の発 行	出版準備(契約等)と 1～3巻刊行	4～6巻刊行と 講演会の開催	年2～3巻の刊行	第7-8巻を発行予定	7巻が発行	—	・8巻が発行され、9巻が編集 中	100%	◎		年2～3巻の刊行	子ども向けの読み物を検 討	